

福島工業株式会社

証券コード:6420

# FINE!

株主・投資家の皆さまへ

第63期 期末報告書

2013年4月1日～2014年3月31日

**Fukushima** 

フレッシュ・バリューをあなたとともに

# トップメッセージ



企業理念

環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

## 第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

## 第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

## 第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

## 第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第63期の事業活動の概況をご報告いたしますので、株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **福島 裕**

## 人間性を善くするNo.1技術力『質の高い事業へ』

### ーグループによる製品力・提案力の強化ー

当期は、政府の経済政策いわゆる「アベノミクス」により、円安・株高が進み、輸出関連企業に業績回復が見られるなど、景気回復の基調が続きました。

そのような中、当企業グループを取り巻く環境は、原材料価格の高騰や、消費増税の影響による消費低迷懸念など先行きの不透明な状況が続きました。

また、今年度は、4月からプレハブパネルの製造・販売を行うFSP株式会社が、7月からは、食品生産ラインの省力・省エネ設備の設計・施工を行う株式会社省研が新たにグループに加わり、事業の拡大だけでなく、調査から設計・施工・引渡しまで一括で行う体制を構築してまいりました。

冷凍冷蔵庫事業では、汎用業務用冷蔵庫の売上が伸びるとともに、学校や保育園、病院、老健施設などの給食センターの設備更新需要が増え、センターからサテライトへ配送する流れの中で、急速冷却の必要性が高まりプラスチックの売上も伸びました。

ショーケース事業では、省エネ設備への入替需要や小型食品スーパーの出店増などから、オープンショーケースの売上が大幅に伸びました。

これにより、福島工業単体で過去最高の売

上・利益を更新するとともに、トンネルフリーザ事業においても食品工場向けの売上が伸び、グループ全体でも最高売上、最高益を更新いたしました。特に3月は消費増税の駆け込み需要もあり、大変大きな売上となりました。

また、1月には、削減した電気代で省エネ設備への投資が行えるESCO事業とエネルギー管理システム(Bems-you)を組み合わせたエネルギーマネジメントシステムが平成25年度省エネ大賞(経済産業大臣賞)を受賞いたしました。

このように、当企業グループの製品力・開発力を強化し、お客様と一緒に考えて、「三方善し」の実現に邁進してまいります。

### ーさらなる「三方善し」をー

当企業グループを取り巻く環境は、原材料の高騰、原子力発電所の停止によるエネルギーの問題、さらには、消費増税に伴う消費者の低価格志向の継続などもあり、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

そのような状況のもと、我々は「環境・安全・安心」に配慮した独自商品で他社との差別化を図るとともに、経費の徹底的削減、原価低減により収益体質の改善を図ってまいります。

販売に関しましては、省エネ機器への入替需要や、小型食品スーパーやコンビニエンス

ストア向けショーケースの新規出店需要などは、引き続き堅調に推移すると思われますので、省エネ大賞を受賞したESCO事業とエネルギー管理システム(Bems-you)を積極的に提案し、既存設備の電力削減にも注力してまいります。

また、東西にサービスセンターを設立し、メーカーとして今まで以上にお客様に信頼されるサービスを提供できるよう、メンテナンス体制の拡充や技術力をさらに高めてまいります。

さらに、グループ会社の高橋工業株式会社、FSP株式会社、株式会社省研の3社に、当社のエンジニアリング事業を加えた4社で、6次産業向けの提案営業でビジネスチャンスを創造し、4社の持っているそれぞれの技術のシナジー効果を最大限に発揮してまいります。エンジニアリング事業の強化・拡大を図り、トータルでの支援・提案を行い、お客様のニーズにお応えできるよう注力してまいります。

今後も当社の企業理念である「幸せ四則」を推進していくため、これからも「環境・安全・安心」をテーマに、さらなる「三方善し」を実現できるよう日々邁進してまいりますので、株主の皆様には今後ともなお一層のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

第63期連結決算 (単位:百万円)



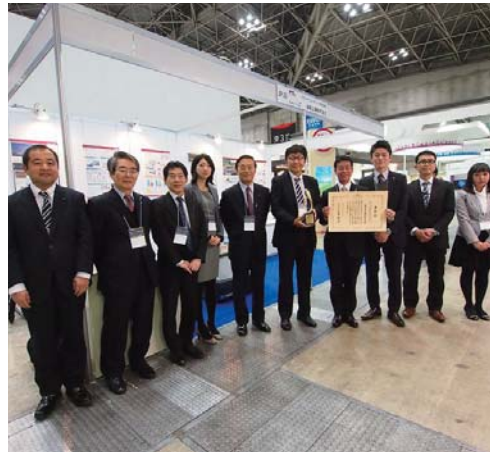
# 特集 1



## 平成25年度省エネ大賞 ビジネスモデル部門 経済産業大臣賞受賞

福島工業株式会社は、一般財団法人省エネルギーセンターが主催する平成25年度省エネ大賞（ビジネスモデル部門）において、経済産業大臣賞を受賞しました。

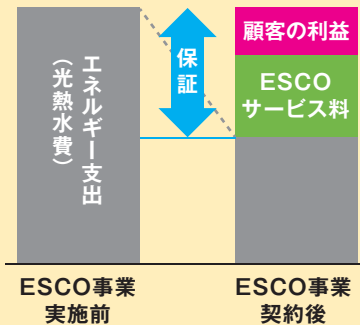
国内の優れた省エネ活動事例や技術開発等による先進型省エネ製品等を表彰し、省エネルギー意識の浸透、省エネルギー製品の普及促進等に寄与することを目的とした「省エネ大賞」。受賞内容は、当社独自の『ESCO事業を組み合わせたエネルギー管理システム「Bems-you」による環境負荷低減システムの構築』であり、電力の見える化や冷却設備・空調・照明の自動制御でデマンド値を抑える新システム「Bems-you」による食品スーパー向けの電力削減への取り組みをはじめ、当社が現在強化している店舗全体のエネルギーを管理するESCO事業、さらには環境負荷低減への取り組みが高く評価され、今回の受賞に至りました。



### ESCO事業とは

ESCO事業とはエネルギー・サービス・カンパニーの略。ESCO事業者は、診断、設計・施工、運転・維持管理、資金調達など、省エネルギーに関する包括的なサービスを提供し、改修で浮いた光熱水費から経費と報酬を受け取ります。お客様にとっては、改修のための費用を工面せずに省エネ設備に切り替えられるメリットがあり、省エネルギー効果の保証を含む契約形態をとることで利益の最大化を図ることができるという特徴を持ちます。

またESCO事業者による資金調達を活用すれば、事業開始初年度から、従来の光熱水費支出以上の経費負担が発生することがなく、同時に省エネルギーを推進し、温室効果ガス排出削減を実現することが可能です。



## 申請から保守メンテナンスまでパッケージで提案 フクシマESCOの強み

スーパーマーケットの場合、冷凍冷蔵設備・照明設備・空調設備で店舗全体の電力消費量の約9割を占めています。中でも冷凍冷蔵設備の電力消費量は約6割（スーパーマーケット（小規模）の用途別電力消費比率 出展（社）日本冷凍協会資料）。環境負荷低減に向けた既存冷凍冷蔵設備の節電・省エネ対策が求められてきたものの、消費電力を省エネ化するための設備費用は、通常高いコストがかかり、その資金調達が課題とされてきました。

このような節電に対する意識の高まり、さらには省エネ設備に対する補助金制度の後押しもあって、当社では省エネ性能の高い設備にかかる更新コストを削減光熱費で賄うビジネスモデルESCO事業に進出。省エネショーケースと店舗全体の電力を制御する省エネ制御システム「Bems-you」を活用したESCO事業を推進しています。

当社のESCO事業の特長としては自社の省エネ製品と豊富なノウハウを活用し、申請・施工・ファイナンス・保守メンテナンス、効果保証までワンパッケージでご提案できること。この当社の強みを活かし、営業・施工・サービスが三位一体となって、現場密着型コミュニケーションの中から、お客様のニーズに合わせた提案に取り組んでいます。また、ESCO事業による環境負荷低減はもちろん、当社は製品づくりの工程においても、社員一人ひとりが環境に対するミッションマインドを持ち、環境視点での確かなジャッジメントが行える企業として社会環境に貢献しています。



### POINT 1

#### 省エネ効果を100%保証

当社の豊富なノウハウを活用したプランニングにより、技術・設備・ファイナンス機能・効果保証などをパッケージで提供し、お客様に負担なく確実な省エネ・節電を実施します。万一、電気代削減の目標値に達しなかった場合も、当社から補償金をお支払いする仕組みになっているため安心です。

### POINT 2

#### BEMSアグリゲーターとしてお客様をサポート

Bems-youを活用し、電力需給逼迫の負荷調節を行うBEMSアグリゲーターとして、電力会社と協力し、ネガワット取引によるデマンドレスポンスサービスを行っています。デマンドコントロールにて、店舗の電力ピークカットを行い、お客様の電気代の節約にも貢献します。

### POINT 3

#### 24時間365日遠隔監視体制

インターネット回線を通じた遠隔管理システムBems-youによって処理速度・対応件数が格段に飛躍しました。エネルギー管理センターから遠隔で電力管理や制御指示などの省エネチューニングを行い、データの配信、報告書の提出を本部や店舗管理者へ送ります。電力超過や運転異常が見られた際にはメンテナンス担当者がすぐに現場へ訪問し、問題を解決します。

# 福島工業のH&C事業

病院や高齢者向け施設（老人健康施設）、保育園など、集団給食を提供する施設。当社は高齢化などを背景に近年増加傾向にあるそのような施設に、最適な厨房機器やシステムを提案するH&C（ホスピタル&ケア）事業を強化し、事業規模の拡大に努めています。

当社が大切にしているのは「製品を買っていただく」だけでなく「買っていただいた製品を使いこなしていただく」こと。食事を「よりおいしく」「より効率的に」「より衛生的に」作るための豊富な製品群はもちろん、その活用方法も提案するソリューションで、多くのお客様にご満足いただいています。

## 【導入事例1】

### 福井大学病院

福井県 永平寺

2011年秋よりプレハブ冷蔵庫、HACCPマスターを含む

厨房設計打合せをすすめ、HACCPマスターが他社との大きな差別化となり、当社の製品を導入いただきました。



## 【導入事例2】

### 加賀保育園

東京都 板橋区

園長様、栄養士様と一緒に衛生的で使いやすい厨房を考えました。機器の使い方もフォローさせていただきおいしい給食が評判とのことでした。



## H&C事業インタビュー



H&C事業部 部長代行  
精松 弘克

### 他社に先駆けて展開してきた ホスピタル&ケア事業

H&C（ホスピタル&ケア）事業部は今年で6年目。ホスピタル&ケアという名が示すとおり、病院や老人健康施設（以下、老健施設）、保育園などを中心に当社の厨房機器・システムの販売や提案を行っています。高齢化が進む日本では、団塊の世代が後期高齢者の75歳を迎える2025年問題が切実な問題。老健施設の不足もささやかれ、税制優遇や補助金制度など国が積極的にその整備を進めていますが、まだまだ数が足りないというのが現状です。一方、国内の病院に目を移すと、老朽化した建物が目立つようになり、近年建て替えを行う病院も増えてきました。また、保育園も都心部における待機児童の問題などもあり、その数は今後増えていくことが予想されます。

これらの背景から、当社はこの分野での成長性を見込んで、製品力や提案力を生かしたH&C事業を他社に先駆けて展開してきました。

### 製品導入後もしっかりとフォロー、それが福島工業の強み

当社のH&C事業の特長として、まず豊富な製品群が挙げられます。たとえば温度管理システム。これは厨房機器をすべて通信でつないで、一括管理するシステムなのですが、この点は他社と最も差別化できる点です。そして、製品メリットだけでなく、当社が大切にしているのはソフト面でのフォロー。お客様の多くは、その施設で働く管理栄養士さんや調理士さんですが、当社の製品を使ってどういう料理が作

れるのかを、製品を導入していただいた後も、調理実演セミナーなどを行ってしっかりとフォローしています。

さらに、当社には他の事業部と連携して、より最適なソリューションを提案できるネットワーク力があります。冷蔵庫・冷凍庫や再加熱カート、食器・食材を洗浄する水をつくる機械などはもちろん、たとえば厨房の中にプレハブパネルが必要なとき、グループ会社にはFSP株式会社というパネル事業もありますので、そういう意味では当社はH&C事業部だけでなく、他の事業部とのチームプレイによって、シナジーを発揮できる強みがあります。

また近年、不動産業やハウスメーカーをはじめ、外食産業など、老健施設に参入する企業が、非常に増えてきました。当社の課題としては、そういった異業種からの参入組に対して、いかにして特色を出していけるかということ。その観点からも、やはりソフト面でのフォローは大切です。病院や老健施設は、通常の集団給食と違って嚥下食と呼ばれるソフトな食事も提供しなければいけません。そこで、当社では調理セミナーの中で、嚥下食セミナーも開催し、数多くの方に参加いただいています。今後はそのような特殊な食事のノウハウをさらに高めていくことが重要と考えています。

### これからも食の分野で、より多くの方に幸せを届けたい

独自の営業ルートの開拓から始まったこの事業も、おかげさまで順調にシェアを伸ばし、売り上げは右肩上がりで推移しています。そして、これからさらなる成長を目指して取り組むべきことは、料理に携わるより多くの方に、当社の製品を使ったノウハウを伝えていだけでなく、時間的・人的コストを削減できるように知識を高めていくことが大事だと考えています。病院や老健施設では、朝のたった5分の短縮が、大きなコスト削減につながります。そういった意味では、お客様のニーズを探り、それに適した機械の提案はもちろん、今後はお客様の視点に立った製品の開発も必要なかもしれません。

また病院や老健施設には、食事を楽しみにしている方が多くいらっしゃいます。料理がおいしくなければ、施設に人も集まりません。ですので、最近「おいしい食事」を売りにした病院や老健施設も数多くあり、その一つひとつにビジネスチャンスがあると考えています。

このH&C事業は、購入していただいた製品を充分使いこなしていただくことが広く社会貢献につながるという意識を強く持つことが大切。ただ利益に走るだけでは真の顧客満足は得られません。当社の製品で、おいしい食事が作れて、コストも下がり、施設の方に喜んでいただく。患者様などにも、食事の時間が楽しくなった、おいしくなったと喜んでいただく。それが、私たちの使命だと思っています。

# トピックス~NEWS~



## 新製品 冷凍リーチインショーケース SGCシリーズを発売



電気料金の引き上げなどにより、スーパーマーケットでは省エネ対応製品への更新が進み、ドラッグストアでは冷凍食品の売り場を拡大する動きが増えています。このような中、多品種かつ大容量の商品を陳列できる、「大型冷凍リーチインショーケースSGCシリーズ」の販売を開始。ダクト構造と冷却器を新設計し、さらに庫内にLED照明を標準装備することにより、冷凍多段型オープンショーケースに比べ約70%の省エネを実現しました。

## 展示会 第48回 スーパーマーケット・トレードショー 2014に出展しました。

2014年2月12日(水)~14日(金) 東京ビッグサイト 東全館

スーパーマーケットをはじめとする食品流通・小売業界を対象とした展示会「スーパーマーケット・トレードショー」。

この展示会は、価格だけではなく差別化された独自性と、拡がり続ける顧客ニーズに応える情報収集・商談のための貴重な場となっています。当社は、Send-youショーケースや冷凍機内蔵型ショーケースを展示。省エネ大賞を受賞したエネルギー管理システムの提案なども行い、当社のトータルソリューションをPRしました。



## 新製品 チョコレート熟成・保管庫 ショコラ・エイジング・ストッカーを発売

チョコレートの熟成や保管専用に開発された製品で、給水なしで庫内湿度を50%以下に維持、冷蔵モード(3~10℃)へ切り替えも可能です。また、チョコレートを作らないときは冷蔵庫として使用でき、クーベルチュールや商品の一時保管、センター生地やコーティング後のエイジング、コンフィズリーやアメ細工のパーツなどの一時保管にも最適です。



## 新製品 業務用ヨコ型冷凍冷蔵庫 Yシリーズがモデルチェンジ

次世代型の業務用冷蔵庫として、「新型ヨコ型Y-2シリーズ」をリリースいたしました。業務用冷蔵庫が2014年3月よりトップランナー制度の対象となり、エネルギー消費効率のさらなる改善の推進が求められるようになりました。その背景に基づき、今回のモデルチェンジでは1台当たりの年間CO2排出量を約44%削減、ユーカリで約22本分を植えた場合と同等の効果があり、さらに従来製品と比べ、省エネ効率が約42%、ランニングコストも大幅に削減された仕様となりました。この新型Y-2シリーズで、さらに地球温暖化防止に貢献いたします。



## 展示会 第14回 厨房設備機器展に出展しました。

2014年2月18日(火)~21日(金) 東京ビッグサイト

国内外約700の企業が出展するホテル・旅館・外食・給食・弁当サービス業界の方のための合同展示会「厨房設備機器展」。この展示会で、当社は冷却調理の実演や、これまでお客様のご要望に応じて実用化された多様な各種カスタマイズ製品の紹介などを行いました。また、当社の累計生産台数100万台突破と岡山工場30周年を記念し、ゴールドモデルの冷蔵庫の展示も行いました。



## 展示会 第14回 JAPAN ドラッグストアショーに出展しました。

2014年3月14日(金)~16日(日) 幕張メッセ

ドラッグストア業界関係者と一般来場者が訪れ、今年の業界トレンド情報が一挙に集結するJAPANドラッグストアショーでは、インバーター冷凍機内蔵ショーケースを展示し、当社の省エネ技術力をPRしました。ブースには大勢の方にお越しいただきました。



## 累計生産台数 100万台を突破!

オールゴールドモデルの記念冷蔵庫を製作しました。

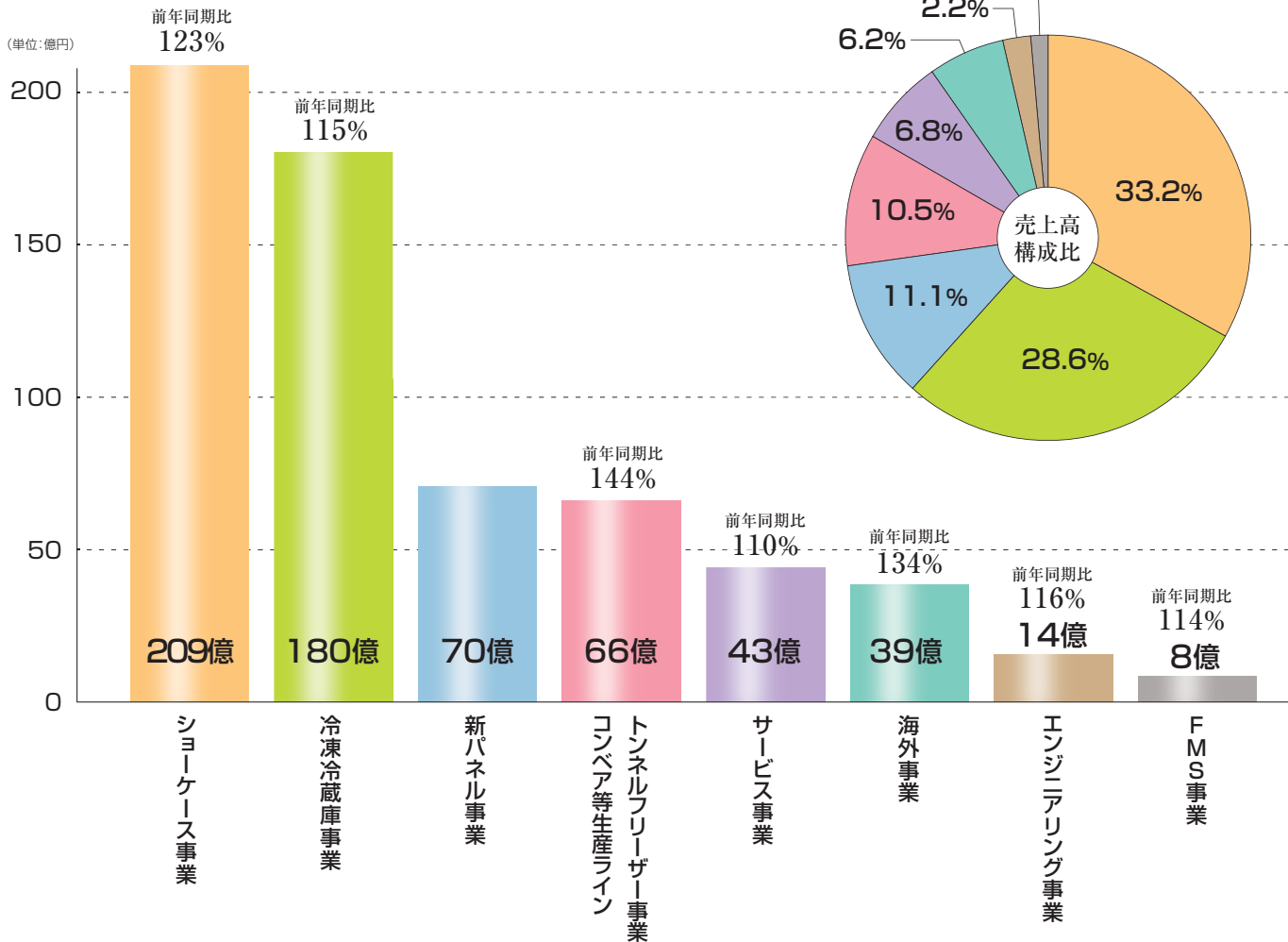


## Fukuppyが全製品に!

業務用冷凍冷蔵庫にFukuppyをデザインしたブランドマークを貼り付けました。



# 事業別売上高



オープンショーケース



汎用業務用冷凍冷蔵庫



製氷機



トンネルフリーザー



メンテナンス・サービス

エネシーマネージメントシステム(ベムス・ユー)  
Bems-you

# 連結財務諸表



## 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成26年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	29,664,219	40,064,911
固定資産	13,754,234	14,104,844
有形固定資産	7,705,402	8,449,686
無形固定資産	102,806	129,211
投資その他の資産	5,946,025	5,525,946
<b>資産合計</b>	<b>43,418,453</b>	<b>54,169,755</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	16,821,361	21,760,400
固定負債	1,988,915	2,798,066
<b>負債合計</b>	<b>18,810,277</b>	<b>24,558,467</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	23,699,520	27,930,960
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	3,062,430
利益剰余金	18,404,165	22,379,500
自己株式	△350,910	△271,162
その他の包括利益累計額	734,176	1,375,920
その他有価証券評価差額金	873,034	1,343,193
為替換算調整勘定	△138,858	85,521
退職給付に係る調整累計額	—	△52,795
少数株主持分	174,479	304,407
<b>純資産合計</b>	<b>24,608,176</b>	<b>29,611,288</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>43,418,453</b>	<b>54,169,755</b>

### Point.1

売上の増加により受取手形及び売掛金の増加したこと、売掛債権の回収により現金及び預金が増加したことによる流動資産の104億円の増加や、株価の上昇により投資有価証券の時価評価額が増加したことによる固定資産の3億5千万円の増加により、資産合計107億5千万円の増加となりました。

### Point.2

プレハブ式冷凍冷蔵庫のパネルを製造・販売するFSP株式会社や、食品生産ラインにおける省力・省エネに対応する機械設備を、研究・開発から設計製造まで一貫して手掛ける株式会社省研が今期より連結子会社となったことにより、全体で31.5%の増加となりました。

## 連結損益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
売上高	47,173,427	62,044,097
売上原価	35,360,729	46,516,179
売上総利益	11,812,698	15,527,917
販売費及び一般管理費	7,385,051	9,364,917
営業利益	4,427,646	6,162,999
営業外収益	443,215	582,583
営業外費用	58,585	92,603
経常利益	4,812,276	6,652,979
特別利益	—	418,732
特別損失	15,000	—
税金等調整前当期純利益	4,797,276	7,071,712
法人税、住民税及び事業税	2,035,358	2,659,817
法人税等調整額	△195,765	39,954
法人税等合計	1,839,592	2,699,772
少数株主利益又は損失(△)	△1,339	78,800
当期純利益	2,959,023	4,293,139

Point.1

Point.2

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,113,498	3,997,185
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,761,221	△801,139
財務活動による キャッシュ・フロー	△123,087	△213,429
現金及び 現金同等物に係る換算差額	186,916	244,347
現金及び 現金同等物の増減額	2,416,105	3,226,964
現金及び 現金同等物の期首残高	11,224,376	13,640,481
現金及び 現金同等物の期末残高	13,640,481	16,867,445

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

### Point.3

投資活動の結果使用した資金は、8億1千万円(前年同期比9億6千万円減)となりました。これは主に事業用地及び営業社屋の取得並びに各工場の生産設備等有形固定資産の取得を行ったことによるものです。

### Point.4

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前当期純利益を70億7千1百万円計上し、投資活動や財務活動に10億1千4百万円使用した結果、前連結会計年度末に比べ32億2千6百万円増加し、168億6千7百万円となりました。

## Information

### 会社概要

商号	福島工業株式会社
本社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結:1,412名 単体:1,038名（準社員除く）

### ネットワーク

支社	東日本(東京)、中部(名古屋)、関西(大阪)、西日本(福岡)
支店	札幌、東北(仙台)、信越(新潟)、関東(さいたま)、横浜、千葉、西東京(立川)、静甲(静岡)、北陸(金沢)、京都、阪和(難波)、神戸、岡山、広島、四国(高松)、西南九州(長崎)、沖縄
営業所	旭川、函館、青森、盛岡、秋田、郡山、山形、長野、松本、宇都宮、高崎、水戸、小田原、相模原、甲府、沼津、浜松、豊橋、三重、岐阜、高山、富山、福井、滋賀、北近畿、奈良、和歌山、南大阪、西宮、姫路、鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、久留米、佐賀、大分、佐世保、熊本、宮崎、鹿児島、石垣
サービスセンター	関西(大阪)
工場	滋賀、岡山
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、FSP株式会社、株式会社省研 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、北京合弁工場、タイ、ベトナム

### 役員

代表取締役社長	福島 裕	監査役	竹内 博史
取締役副社長	福島 亮	監査役	吉田 広務
専務取締役	福島 豪	監査役	手川 明映
常務取締役	片山 充		
取締役	長尾 健二		
取締役	水谷 浩三		

### 株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ <a href="http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html">http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html</a> に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が下記へ変更となりました (郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

### 「FINE!」について

Fresh Information & Next Efforts(新鮮な情報と、次なる取組み)の頭文字をとった略語。FINE本来が持つ「みごとな」「すばらしい」といった前向きな意味と、当社の企業理念である「幸せ創造企業」を実現するための取組みや、株主のために透明性と一貫性のある情報発信を行っていく当社の企業姿勢を表しています。